

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
露地野菜専業VI	3人	秋作ブロッコリー	a	1. 自家育苗、定植機使用 2. 害虫防除に注意する 3. 活着のために灌水を実施する 4. 共同選果利用 氷詰め出荷 5. 常時雇用あり	
		冬作ブロッコリー	300		
春作ブロッコリー	300				
計	200				
計	800				
経営目標		経営耕地面積	水田		
			畑(借地) 800(200)		
		1 農業総収入	34,565 千円	4 1日当たり農業所得	12,575 円
		2 農業経営費	25,301 千円	5 1人当たり年間労働時間	1,965 時間
		3 農業所得	9,265 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
					千円	年	千円
建物・施設	予冷庫	1	2坪	1	605	8	38
	かん水施設	1	スプリンクラー	1	175	7	13
	育苗ハウス	1	パイプハウス 50㎡	1	186	8	12
	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	3,240	24	135
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,080	24	45
	計					5,285	242
農機具	トラクター	1	30PS	1	3,045	7	218
	動力噴霧機	1	可搬式	1	213	7	15
	管理機	1	6PS	1	200	7	14
	トラック	1	軽トラック	1	807	4	101
	移植機	1	歩行型半自動	1	629	7	45
	肥料散布機(トラクター装着)	1	トラクター装着 容量100kg	1	155	7	11
	計					5,049	404

3. 技術体系（秋作ブロッコリー）

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
播種	育苗ハウス 寒冷紗被覆	7月中～ 8月上	トラック 播種機	2	2.5	5	種子 寒冷紗 トレイ(128穴) 専用培土	高温と乾燥対策が必要 トレイは浮かせる。 深植にならないよう注意する。
管理	かん水	7月中～ 9月上	かん水施設	1	6	6		乾燥に注意する。
病虫害防除	薬剤散布	7月上～ 9月上	動力噴霧機	1	1	1		県病虫害防除基準による。
(本ぼ)耕うん整地	耕起 整地	8月上～ 9月上	トラクター	1	4	4	堆肥:2t 石灰質資材: 100kg	深耕及び有機質の多用。
施肥	基肥施用	8月上～ 8月下	トラクター	2	1	2	N 30kg P ₂ O ₅ 25kg K ₂ O 30kg	N分施の割合(基肥60%、追肥40%)
定植準備	畦立て	8月下～ 9月上	トラクター	1	1	1		
定植		8月中～ 9月上	移植機 トラック	2	2	4		栽植密度 早生 1.4m×35cm(2条)、 4,000株 本葉3～4枚時に定植する。
除草	除草剤散布	8月下～ 9月中	動力噴霧機	2	1	2	除草剤	県雑草防除基準による
施肥	追肥施用	9月下～ 9月中	トラクター	2	2	4		追肥は定植後15～20日と30～40日後の2回施用。
かん水		8月下～ 9月上		2	4	8		活着のため十分かん水する。
土寄せ		9月上～ 10月上	管理機	1	2	2		
病虫害防除	薬剤散布	8月中～ 12月上	動力噴霧機	2	6	12		使用薬剤及び使用方法は県病虫害防除基準による。
収穫出荷		10月中～ 12月下	トラック	3	10	30		花蕾の肥大が止まらない期間(やや若採り)に収穫する。
後片付け		12月下～	トラック トラクター	2	3	6		
計						87 (75)		()は購入苗を利用した場合

3. 技術体系（冬作ブロッコリー）

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
播種	育苗ハウス 寒冷紗被覆	8月下～ 10月上	トラック 播種機	2	2.5	5	種子 寒冷紗 トレイ(128穴) 専用培土	高温と乾燥対策が必要 トレイは浮かせる。 深植にならないよう注意する。
管理	かん水	8月下～ 10月上	かん水施設	1	7	6		乾燥に注意する。
病虫害防除	薬剤散布	8月下～ 10上	動力噴霧機	1	1	1		県病虫害防除基準による。
(本ぼ) 耕うん 整地	耕起 整地	9月上～ 10月中	トラクター	1	4	4	堆肥: 2t 石灰質資材: 100kg	深耕及び有機質の多用。
施肥	基肥施用	9月上～ 10月下	トラクター	2	1	2	N 30kg P ₂ O ₅ 25kg K ₂ O 30kg	N分施の割合(基肥60%、追肥 40%)
定植準備	畦立て	9月上～ 10月中	トラクター	1	1	1		
定植		9月中～ 11月上	移植機 トラック	2	2	4		栽植密度 早生 1.4m×35cm(2条)、 4,000株 本葉3～4枚時に定植する。
除草	除草剤散布	9月中～ 11月下	動力噴霧機	2	1	2	除草剤	県雑草防除基準による
施肥	追肥施用	9月下～ 11月中	トラクター	2	2	4	N 30kg P ₂ O ₅ 25kg K ₂ O 30kg	N分施の割合(基肥60%、追肥 40%) 追肥は定植後15～20日と30～40日後の2回施用。
かん水		9月中～ 11月上		2	4	8		活着のため十分かん水する。
土寄せ		9月下～ 11月中	管理機	1	2	2		
病虫害防除	薬剤散布	9月中～ 12月上	動力噴霧機	2	3	6		使用薬剤及び使用方法は県病虫害防除基準による。
収穫 出荷		1月上～ 3月下	トラック	3	14	42		花蕾の肥大が止まらない期間(やや若採り)に収穫する。
後片付け		4月下～	トラック トラクター	2	3	6		
計						93 (81)		()は購入苗を利用した場合

3. 技術体系（春作ブロッコリー）

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
播種	育苗ハウス 寒冷紗被覆	1月上～ 1月下	トラック 播種機	2	2.5	5	種子 寒冷紗 トレイ(128穴) 専用培土	高温と乾燥対策が必要 トレイは浮かせる。 深植にならないよう注意 する。
管理	かん水	1月上～ 2月下	かん水施設	1	6	6		乾燥に注意する。
病害虫防除	薬剤散布	1月下～	動力噴霧機	1	1	1		県病害虫防除基準による。
(本ぼ) 耕うん 整地	耕起 整地	1月中～ 2月中	トラクター	1	4	4	堆肥:2t 石灰質資材: 100kg	深耕及び有機質資材の使 用。
施肥	基肥施用	1月中～ 2月中	トラクター	2	1	2	N 30kg P ₂ O ₅ 25kg K ₂ O 30kg	N分施の割合(基肥60%、追 肥 40%)
定植準備	畦立て マルチ	1月下～ 2月中	トラクター	1 2	1 4	1 8	マルチ資材	
定植 被覆	べたがけ	2月上～ 2月下	移植機 トラック 被覆資材	2 2	2 8	4 16	被覆資材	栽植密度 1.2m×40cm(2条)、 4,200株 本葉3～4枚時に定植する。
病害虫防除	薬剤散布	3月上～ 5月下	動力噴霧機	2	4	8		使用薬剤及び使用方法は県 病害虫防除基準による。
被覆除去		3月中～ 4月上		2	4	8		花蕾が出蓄してきたら被覆資 材を除去する。
施肥	追肥施用	3月中～ 4月上	トラクター	2	2	4	N 30kg P ₂ O ₅ 25kg K ₂ O 30kg	N分施の割合(基肥60%、追 肥 40%) 追肥は定植後15～20日と30 ～40日後の2回施用。
収穫 出荷		4月中～ 5月下	トラック	3	10	30		花蕾の肥大が止まらない期 間(やや若採り)に収穫する。
後片付け		6月上～	トラック トラクター	2	3	6		
計						103 (91)		()は購入苗を利用した場合

4. 品目の作付体系 (○:は種、△:定植、□:収穫)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
秋作ブロッコリー							○	△ ~○	△	□		
冬作ブロッコリー	□							○	△	~	○	△
春作ブロッコリー	○ ~○	△ △		□								

5. 作業別・旬別労働時間(10a当たり時間)

1) 秋作

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
播種・管理							2	3	1	1															11	
定植準備							1	2	2																7	
定植							1	2	1																4	
肥培管理																1	5	0.5	1.5	0.5					14	
病害虫防除							0.3	0.3	0.4	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15	
収穫出荷																			3.75	3.75	3	3	2.25	4.5	5.25	30
後かたづけ																									6	
計							2.3	3.3	4.4	6	12	12	1.5	2.5	1.5	4.8	4.8	4	4	3.3	5.5	4.5	11		87	
月計							5.6		22.4							11		15.5		11.25		21.25				

2) 冬作

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
播種・管理																			2	2	2	2	1			11
定植準備																			1	1	1	1	1			7
定植																			0.7	0.7	0.7	0.6	0.6			4
肥培管理																			2	4	3	1	2	1		14
病害虫防除																0.2	0.2	1.6	0.2	1.6	1.4	1.4	1.4			9
収穫出荷	6	6	6	6	5.25	5.25				3	2.25	2.25														42
後かたづけ							6																			6
計	6	6	6	6	5.3	5.3	3	2.3	2.3	6						2.2	3.2	7.3	7.9	8.3	3.7	5	4	1	1.4	93
月計	18			16.5			7.5			0			0			2.2	18.4		17		6.4				1	

3) 春作

品目・作業/月・旬	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
播種・管理	2.7	2.7	2.6	1	1	1																				11
定植準備				2	4	3	2																			15
定植				1.4	1.3	1.3																				4
肥培管理				6	7	5																				28
病害虫防除				0.3	0.3	0.2	2			1	1	1														9
収穫出荷										7.5	5.25	5.25	4.5													30
後かたづけ												6														6
計	2.7	4.7	6.9	13	13	9.5	2	2.7	5.7	4.6	7.5	8.5	6.3	5.3	5.5	6										103
月計	14.3			34.7			10.4		17	6																

6. 総労働時間

	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		計											
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下												
総労働時間	234	274	318	434	408	348	130	122	182	92	150	350	125	105	110	120	0	0	69	99	132	180	426	441	264	312	294	254	293	240	150	140	195	135	338	7460
うち家族労働	164	204	248	264	238	178	130	122	182	92	150	350	125	105	110	120	0	0	69	99	132	180	426	441	264	312	294	254	293	240	150	140	183	123	326	5894
うち常時雇用	70	70	70	70	70	70																60	60	60	70	70	70	70	70	70	70	70	12	12	1056	
うち臨時雇用				100	100	100																			70	70	70	70	70						510	